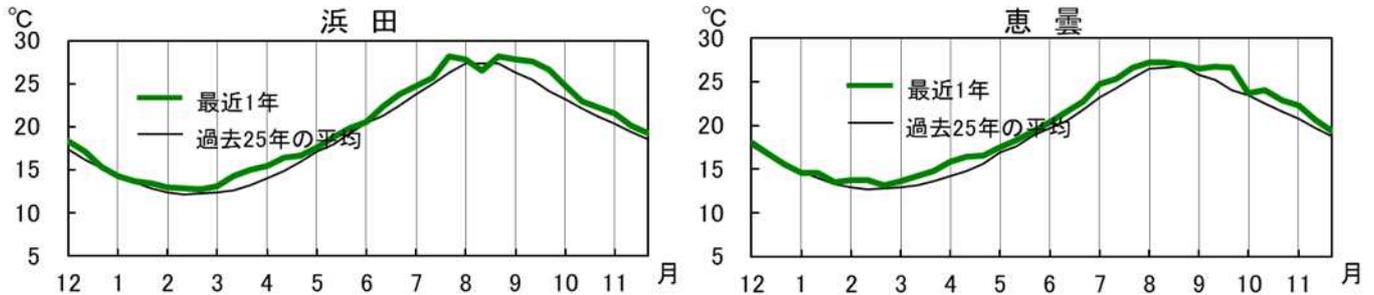




《11月の海況》



11月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	はなはだ高め	20.3°C	+0.9	はなはだ高め	20.8°C	+1.0
中旬	かなり高め			かなり高め		
下旬	やや高め			やや高め		



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジが平年の6割でした。また、サバ類は平年の1割未満でした。隠岐地区ではマアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は23.7トンで平年並みとなりました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,150トンで平年の2.3倍でした。また、ブリは134トン、サバ類は83トンでそれぞれ平年の1割となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は38.9kgで平年の9割でした。西郷地区(属人5トン以上)での水揚げはありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、マアジを主体に、1統1航海当りの漁獲量は13.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍、マアジは平年の1.9倍でした。その他、マダイは平年の2.5倍、ケンサキイカは平年の2.0倍と好調で、マダラは平年の1.0倍、アカムツは平年の7割、アンコウ類は平年の5割、ムシガレイは平年の4割、ソウハチは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではニギス、アンコウ類、ソウハチ主体の漁況で、総漁獲量は259トンでした。1統1航海当りの漁獲量は961kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の1.9倍、アンコウ類は平年の5割、ソウハチは平年の3割でした。その他、ヤリイカは平年の1.2倍、キダイは平年の8割、アカムツは平年の7割、マダラ、スルメイカおよびマトウダイは平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の5割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、シイラ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は29.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.1倍、ブリは平年の2.4倍、シイラは平年の3.5倍でした。石見地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は17.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジ、ブリともに平年の7割でした。隠岐地区ではイサキ、マアジ、ウルメイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は2.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、イサキは平年の1.3倍、マアジは平年の2割、ウルメイワシは平年の3割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.8kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の3.7倍でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.8倍でした。隠岐地区では、クロマグロ主体の漁況で、魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の3割でした。

【令和5年11月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ	1,419トン	63%	51%	23.7トン	162%	105%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	2.0トン	208%	24%	38.9kg	124%	88%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、マアジ	238トン	78%	81%	13.2トン	74%	77%
小型 底びき網	大田	ニギス、アンコウ類、ソウハチ	259トン	59%	62%	961 kg	100%	97%
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ、シイラ	379トン	169%	107%	29.1トン	156%	104%
	石見	マアジ、ブリ	53.4トン	65%	60%	17.8トン	87%	75%
	隠岐	イサキ、マアジ、ウルメイワシ	8.4トン	29%	18%	2.8トン	29%	18%
釣り・縄	出雲	ブリ	26.5トン	48%	62%	28.8kg	79%	94%
	石見	ブリ	23.2トン	53%	59%	26.4kg	81%	106%
	隠岐	クロマグロ	15.2トン	30%	47%	—	—	—

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ

※ 隠岐地区の釣り・縄のCPUEは操業日数データが確定していないため、本号では公表していません。